人気温泉旅館ホテル250選限定企画

富山県・宇奈月温泉

延楽

上質の日本料理を提供

富山県宇奈月温泉の延楽（濱田政利社長）は、市場から毎日仕入れる新鮮な素材を使い、代々受け継がれてきた伝統の技で、旅館料理の枠を超えた上質の日本料理を提供する。

料理・食事

献立「匠の膳」は、朝揚がったばかりの新鮮な海の幸を堪能できる料亭クラスの料理コース。「雅の膳」は厳選の高級素材を使った新しいタイプの〝宿屋料理〟。すべての器は館主が厳選した手作りや骨とうの品となっている。「黒部旬彩膳」は季節の食材を先取りした会席料理。「黒部せせらぎ膳」は最もスタンダードな料理で、黒部の名水が育んだ山の幸と海の幸を提供する。

ホタルイカや富山湾でしかとれない希少種の白エビ、夏の逸品岩ガキなど、この地ならではの名物を味わってみたい。山間から湧き出る清水と質の高い飼育技術で育まれた氷見牛を使った同館特製のあぶりも絶品。黒部渓谷を一望する名湯につかったあとは、富山の海山の幸を食べつくしてほしい。

▽延楽は富山県黒部市宇奈月温泉347―1。☎0765・62・1211。http://www.enraku.com/

器にもこだわった自慢の逸品

山梨県・富士河口湖温泉郷

若草の宿 丸栄

「宿は舞台、私たちは役者」

従業員の接客の良さが高い評価を受けているのが山梨県・富士河口湖温泉の「若草の宿丸栄」（渡辺昭夫社長）だ。

「宿は舞台、お迎えする私たちは役者」を接遇モットーに、宿泊客のチェックイン（開演）からチェックアウト（カーテンコール）までを1回の舞台公演に例え、その中で、「従業員（役者）はマニュアル（台本）通りの動きに加え、それ以上の接客（機転をきかせたアドリブ）でお客さまを満足させる」ことを目指す。

接客・サービス

そのため従業員教育には特段の力を注ぐ。「臨機応変な対応能力は基本の集大成」という信念のもと、接客マニュアルを日夜改善し、徹底的に仕込むが、マニュアル人間にならないよう現場での実践指導も怠らない。

また、短期間で即戦力に仕上げるために、研修では進行シートを用いて学んだことの理解度や習熟度をそのつど把握させ、週1回のペースで入念にチェックしていく。

さらに、新人、若手、中堅、ベテランと、年代や勤続年数に応じて、達成すべき目標を個々の資質に合わせて設定し、定期的に実施される様々な勉強会・講習会と併せ、総体的なレベルアップに努めている。

「人（お客さま）が人（従業員）に癒される宿を目指しており、喜ばれることに喜びを感じるスタッフの成長を見るのが一番嬉しい」（同館）。

若主人（渡辺洋専務）も自ら現場の前線に立つ。夕食後のひと時に行う、昔懐かしい紙芝居や民話の語りだ。地域の観光イベントがない時期を中心に年間約100日上演。今年で16年目を迎えた。

日本演劇界の至宝と称された演出家が「人の世の喜怒哀楽を見事に表現し、観客の心の琴線を自在に奏でる名人芸」と絶賛した舞台は、上演を待ち望む人も多く、丸栄の名物となっている。

▽若草の宿丸栄は山梨県南都留郡富士河口湖町小立498。☎0555・72・1371。http://www.maruei55.com/

丸栄名物「若主人の紙芝居」

見はらし露天風呂「湖（うみ）の湯」

石川県・輪島ねぶた温泉

海游 能登の庄

漆器で味わう旬の味

石川県輪島ねぶた温泉の一軒宿、「海游能登の庄」（大向洋紀社長）は、海山の幸を輪島塗の漆器で堪能できるのが魅力。

料理・食事

湯上りに地酒を傾けながら食すれば、輪島ならではの情緒を満喫できる。

夕食は部屋で味わう創作懐石「能登味彩」と、囲炉裏がある食事処（個室）での「囲炉裏会席」から選ぶ。自慢の漆器に盛るのは旬の味。秋からは底引き網で獲れたヒラメやカレイ、高級魚のノドグロなどがうまい。

地酒は輪島に古くから湧き出るアルカリ性泉質（PH10・5）の湯、畳敷きにした美しい廊下も、上質なくつろぎの性的な4種の純米酒を輪島塗のぐい呑みで飲み比べてもらうプランも用意している。

日本海を一望できる客室（計19室）、自家源泉から湧き出るアルカリ性泉質（PH10・5）の湯、畳敷きにした美しい廊下も、上質なくつろぎのひと時を演出する。

▽海游能登の庄は石川県輪島市大野町ねぶた温泉。☎0768・22・0213。http://www.notonosho.co.jp/

輪島塗の漆器が料理を引き立たせる

長野県・扉温泉

明神館

無農薬栽培とCO2削減

信州松本の豊かな自然の中で静かなひとときを提供する宿として名高い、扉温泉の明神館（齊藤茂行社長）。接客や佇まいなどが多くの人の心をつかんでいる同館だが、「エコロジー先進旅館」としても名をはせる。その姿勢は、環境対策に積極的に取り組む宿泊施設などを認証する北欧発の国際エコラベル「グリーンキー」の認証を、国内で初めて受けたほどだ。

エコロジー

例えば「懐石料理」「モダン和食」「オーガニックフレンチ」から選べることで人気の同館の食事も、エコロジーへの取り組みと無縁ではない。ここで使用される野菜の多くは、残飯を微生物が分解してできたバイオ肥料を使い、20年以上前から無農薬栽培に取り組んできた自家農場産や地元産のもの。宿泊客から「おいしい」と評判のコメも自家農場の水田で栽培する。水田にはアイガモを放つことで除草剤、殺虫剤を使わずに育てた稲は、秋の収穫の時期には宿泊客向けのアクティビティ「農場体験」の1つとして、一緒に刈り取ってもらう企画もある。収穫の喜びと共に、自然のサイクルの素晴らしさも体感してもらう考えだ。

また公共交通機関利用者の無料シャトルバスでの送迎や、自宅～宿を送迎する「『ドア・トゥ・ドア』サービス」により、マイカー利用によるCO2などの排出ガスの削減にも努めている。今年3月には、環境負荷ゼロの電気自動車「日産リーフ」を2台導入。同館と松本市内のレストラン「ヒカリヤ」には充電スタンドを設置し、エコロジーな信州ドライブを楽しんでもらえるようにした。

「どんなに小さなことでも、環境に良いと思われることは実行している」という同館。壁面緑化やリサイクル可能な建材の採用など、もてなしの場づくりとエコロジー活動をさりげなく両立させた同館のスタイルは、今後も注目を集めそうだ。

▽明神館は長野県松本市入山辺8967。☎0263・31・2301。http://www.tobira-group.com/

レンタカー用の電気自動車

自家農場での田植え風景

兵庫県・有馬温泉

兵衛向陽閣

太閤秀吉ゆかりの老舗

兵庫県神戸市の有馬温泉にある兵衛向陽閣（風早和喜社長）は、太閤秀吉公から「兵衛」の名を授かった、有馬を代表する歴史と伝統ある旅館。

温泉・浴場

今年は人気アイドルグループAKB48とのコラボレートでも大きく注目を集めた。

大浴場「一の湯」は、格子天井が美しい和風の大浴場。「二の湯」は、一の湯とは対照的な、洋風の大浴場。浴槽の周りに、ローマ風の柱をシンメトリーに配置。幻想的な空間を演出している。

「三の湯」は、昔懐かしい湯治場の雰囲気を再現した大浴場。内湯と露天風呂との間に設けられた、開閉式のガラス戸を開放すると、浴室全体が開放感溢れた半露天風呂風になる。また、野趣あふれる岩風呂の露天風呂をはじめジャグジーや貸切露天風呂があり温泉三昧が楽しめる。

▽兵衛向陽閣は兵庫県神戸市北区有馬町190。☎078・904・0501。http://www.hyoe.co.jp/

湯治場風の大浴場「三の湯」

静岡県・観音温泉

観音温泉

飲泉、自家源泉かけ流しの秘湯

〝天然の恵み〟のおもてなし

「飲泉・自家源泉かけ流しの宿」観音温泉（鈴木和江社長）は、伊豆半島・奥下田の豊かな山間に佇む1軒宿。昭和33年、先代社長が温泉掘削を始め、出湯とともに「観音像」を出土。観音温泉が産声をあげた。

この温泉では3本の源泉から湧き出る毎分600ℓもの極上源泉がすべてのもてなしに息づいている。PH9・5の強アルカリ泉、硬度が1にも満たない超軟水の源泉は、〝美肌〟を超越して肌をすべすべにすることから〝うぶ肌の湯〟とまで言われるようになった。食生活で酸性に偏りがちな身体のアルカリバランスを整える効果も期待され飲泉にも最適だ。飲んでおいしいペットボトル入りの温泉水「飲む温泉・観音温泉」は、11年モンドセレクションで最高金賞と国際優秀品質賞を同時受賞した。都内の3ツ星レストランのスープにも使われ、この地では煮る、炊く、蒸す、焼く、蒸かすなどすべての調理に温泉水が使われている。

温泉・食事

隣接する観音温泉農園では芳醇なトマトや無農薬野菜が自家栽培され、温泉水で漬け込んだ梅干し、下田港近隣で地揚された鮮魚とともに〝天然の恵みによるおもてなし〟に徹底的にこだわっている。

温泉棟は、従来の1・2号源泉の大総檜風呂、ガラティア観音乃湯に加え、昨年8月には、第2の大総檜風呂「観音プリンシプル」がオープン。一昨年に初声をあげた「第三号源泉」を日帰り温泉や貸切風呂で堪能できる。宿泊棟は、プライベートな部屋露天風呂付きの奥座敷「ピグマリオン」、展望檜風呂や3世代が同時に語り合える足湯付きの部屋「本館」、豊かな森林ゾーンの庭園檜風呂付きの部屋「正運館」、観音温泉発祥の地、昔ながらの湯治や連泊に最適な「産土亭」など、4つの館が目的や人数に合わせバリエーション豊富に配備されている。

▽観音温泉は静岡県下田市横川1092―1。☎0558・28・1233。http://www.takinogawa.net/onsentop.html

観音農園ハウスの自家栽培トマト

第三号源泉　観音プリンシプル

香川県・こんぴら温泉郷

琴参閣

中四国最大規模の浴場

香川県こんぴら温泉郷の「琴参閣」（中山芳彦社長）は、古くからこんぴらさんの門前町として栄えてきた琴平町にある温泉旅館。

温泉・浴場

広々とした大浴場は、中四国最大規模を誇る。男性大浴場「かぶきの湯」は、露天風呂、岩塩風呂、薬草湯、ジェットバス、釜風呂サウナなど多様な浴槽で湯浴みが楽しめる。女性大浴場「こんぴらの湯」は、露天風呂や薬草湯、ジェットバス、釜風呂サウナのほか、バラ風呂のサービスもあり、優雅な演出が人気。朝は男女入れ替え制となっている。

また、ワンランク上の飛天館には宿泊者専用の大浴場もある。展望風呂と展望露天風呂があり、男性用から天気の良い日は、瀬戸内海や讃岐富士の眺望が広がる。女性用からは金比羅宮や琴平の町並みが望める。また、9月にはエステルームがオープンする。

▽湯元ことひら温泉琴参閣は香川県仲多度郡琴平町685―11。☎0877・75・1000。http://www.kotosankaku.jp/

女性に人気のバラ風呂

岐阜県・下呂温泉

水明館

大浴場と野趣あふれる野天

温泉街の中央を流れる飛騨川沿いに建つ水明館（瀧多賀男社長）は、3カ所の大浴場や2カ所の野天風呂が自慢の下呂温泉を代表する和を基調とした温泉リゾートホテル。敷地内にある山水閣、飛泉閣、臨川閣の棟ごとに大浴場があり、宿泊客は3カ所とも利用できる。

温泉・浴場

眺望を楽しむなら、飛泉閣9階の「展望大浴場」がおすすめ。全面ガラス張りの窓からは、下呂温泉の街並みや飛騨の山々が一望できる。また、24時間利用できる。

臨川閣の「下留の湯」は、木の香りが漂う檜の浴槽。天井、壁、柱まで檜にこだわった贅沢な造り。高温浴槽、低温浴槽、檜風呂、サウナと多彩に温泉を楽しめる。

野天風呂は、男性用「龍神の湯」、女性用「観音の湯」の2カ所があり、飛騨の星空を眺めながら、野趣溢れる岩風呂の風情を堪能できる。

江戸時代から湯治場として栄えてきた下呂温泉は、「日本三名泉」の1つに数えられる。泉質は、アルカリ性単純泉。別名「美人の湯」ともいわれ、入浴後もしっとりと滑らかな肌を保つと評判だ。

同温泉では、74年から全国に先駆けて温泉の集中管理を行っており、加温も加水もせずに源泉を各旅館に送っている。同旅館では、客室（飛泉閣は特別室のみ）にも源泉をそのまま引き込んでいる。

館内施設も充実。コンベンション施設やウェディング・宴会場をはじめ、プールやエステルームも備える。

純木造数寄屋造りの「青嵐荘」の客室は、全室温泉風呂付きで、建具が四季折々に衣替えする贅沢さ。「臨川閣」の客室も全室温泉風呂付きで、広い間取りと使いやすさが特長。飛泉閣は気軽な1人旅にも対応。山水閣は和にこだわった部屋や和洋室などがある。高級離れタイプからリーズナブルな客室まで様々なスタイルの旅行に対応する。

▽水明館は岐阜県下呂市幸田1268。☎0576・25・2800。http://www.suimeikan.co.jp/

秋の茶会の様子

男性用野天風呂「龍神の湯」